

MOVE!

子どもが動く授業へ

組織的に動く学校へ

平成27年度 佐伯教育事務所通信 NO.41



発行者 米持 武彦
編集者 木村 睦男
平成27年12月10日

定期学校訪問シリーズ⑭ ～佐伯城南中～

心を育み、学びに向かう学校づくり

佐伯城南中学校は、県教育委員会指定による「学びに向かう学校づくり中核校」です。その取り組みの1つとして「自問清掃」に取り組んでいます。「自問清掃」は、「無言清掃」に「気付き清掃」「感謝の清掃」を加え、我慢する心、人の気持ちを汲み感謝する心、気付きの心を育てることを目的とした活動です。

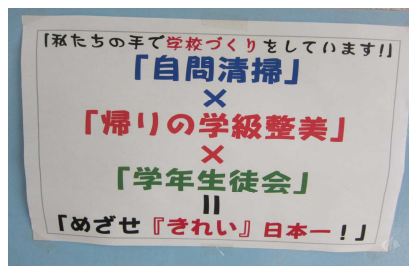
学校訪問を行った際にも、「自問清掃」の取組が伺えました。

清掃を無言で行うことは集中して作業するために有効な方法ですが、さらに自分自身を振り返る時間を設定することで、清掃そのものを振り返るだけでなく、前日の出来事を振り返ったり自己の生き方を考えさせたりすることができます。また、「自問清掃」により、ねばり強さ、創造性、感謝の心、正直な心といった心を育てることにつながり、生徒の道徳性を育むことに効果的であると思われ、県内の多くの中学校で取り組まれています。

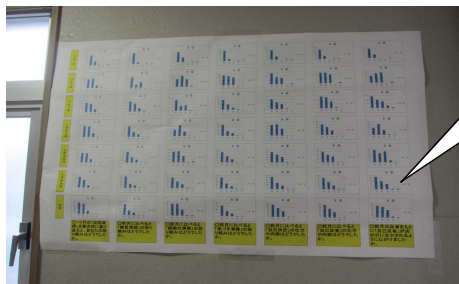
清掃を通して生徒が自分の生き方を考え、学びに向かう学校としての城南中学校の取組の考え方や方法が、多くの学校に広がっていくことを期待しています。

【自問清掃の取組】

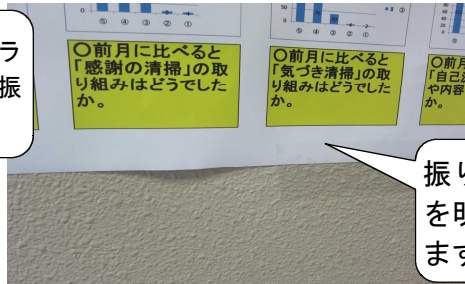
終わった後の雑巾の架け方に落ち着いた心で終え、次の学習や生活に向かう気持ちの一端がうかがえました。



自分たちの自問清掃の取組を毎月振り返りの改善に活かします。

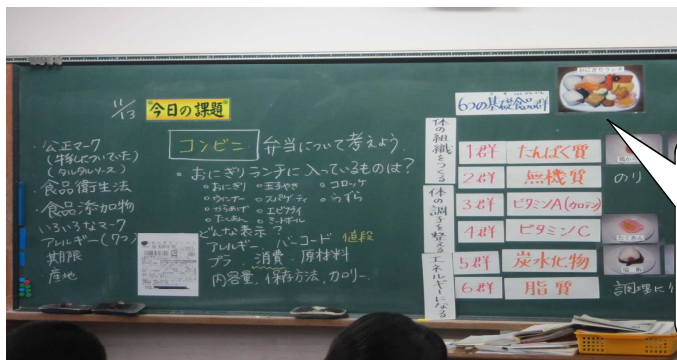


毎月の状況をグラフ化して取組を振り返らせます。



振り返りの視点を明確にしています。

【授業改善の取組】



身近な題材（コンビニ弁当）について、思考ツールを用いて整理・分析し、思考を活性化しています。

図書館のスペースを広げるため、文学作品をブックトラックに常備してすぐに読めるようにしています。

